

(第 22 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 4 年 4 月～6 月期)

令和 4 年度第 1 四半期の景況感調査では、より感染力の強い新型コロナウイルス BA5 の感染拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻等、国際情勢の悪化による経済活動の停滞のため、トラック運送業界における景気の好転は見られなかった。

まず、営業利益を見てみると、「変わらない」との回答が増えている。前回の調査では燃料価格の高止まりの影響を受け、非常に厳しい状況に置かれている運送事業者が多くあったが、今回の調査でも燃料価格の高止まりの状態は続いており、厳しい状況が変わらないという声が多かった。なお燃料価格に関して、燃料サーチャージの収受状況について調査を行なったところ、収受できていると答えた事業所は全体の 22.6%で、交渉中・検討中が 41.5%、収受できていないとの回答が 32.1%だった。「輸送数量を確保するため燃料サーチャージの提案ができない」との声や「他の事業者が交渉しないので、当社だけでの交渉は無理」という声があり、現状としては収受できていない事業者も多いが、一部の事業者からは「適正に収受できている」との声や「一部荷主については収受できている」との声もあり、少しずつではあるが燃料サーチャージの交渉を行っている事業者も増えている。

次に実働率・実車率を見てみると「やや上昇」との回答が微減して、「横ばい」との回答が増えており、荷動きの上昇傾向はみられない。これらは 5 月から 6 月における新型コロナウイルス感染者数の沈静化による経済活動の活性化があったものの、原油価格の高騰等や、急激な円安による輸入物価の上昇の影響により、国内の経済状況が鈍化したためだと考えられる。

業界の景況感を見てみると、「やや悪化」と感じている事業者が増えていた。「多品種の価格が高騰、軽油価格高騰のため利益率が激減している」との声があり、燃料費や人件費等、トラック輸送に関する、ありとあらゆるモノの値段が上がっており、業界の景況感も見通しの立たない状況が続いている。

ロシアのウクライナ侵攻に伴う国際情勢の悪化による原油や原材料の価格高騰や、中国上海の都市封鎖によるサプライチェーンの停滞による荷主企業の業績悪化等がトラック運送業界の景況感改善の逆風になっている。今後も新型コロナウイルス BA2.75 ケンタウロスと呼ばれる新株の猛威も予測されており、油断の許されない状況が続いているが、トラックドライバーの労働環境を改善し、トラック運送業界がその機能を持続的に維持しながら国民生活と経済を支えていくためにも、「標準的な運賃」の収受が急務となっている。

令和 4 年 8 月 1 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第22回）

令和4年4月～6月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	11	社	20.8%	51～100人	2	社	3.8%
11～20人	18	社	34.0%	101～300人	2	社	3.8%
21～30人	7	社	13.2%	301人～	2	社	3.8%
31～50人	11	社	20.8%	未回答	0	社	0.0%

2. 女性ドライバー数

53 社中 13 社 平均人数 3.7 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	7	社	13.2%	51～100両	3	社	5.7%
11～20両	15	社	28.3%	101～300両	2	社	3.8%
21～30両	12	社	22.6%	301両～	2	社	3.8%
31～50両	12	社	22.6%	未回答	0	社	0.0%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 農水産品	0 社	0 社	1 社
2. 林産品（原木、製材、薪炭等）	4 社	1 社	0 社
3. 鉱産品①（砂利、砂、石材）	0 社	1 社	0 社
4. 鉱産品②（3. 以外の 鉱産品、石炭、原油等）	1 社	1 社	1 社
5. 金属（鉄鋼、電線・ケーブル等）	6 社	4 社	1 社
6. 金属製品①（建設・建築用金属製品）	2 社	2 社	4 社
7. 金属製品②（6. 以外の金属製品、刃物、工具等）	1 社	0 社	0 社
8. 電気機械	2 社	5 社	2 社
9. 輸送機械（自動車、自動車部品等）	2 社	3 社	1 社
10. その他機械（産業機械等）	1 社	3 社	1 社
11. 窯業品（セメント、ガラス等）	1 社	0 社	2 社
12. 石油製品（揮発油、重油等）	2 社	0 社	0 社
13. 石炭製品（コークス等）	0 社	0 社	0 社
14. 化学薬品（硫酸、ソーダ等）	2 社	2 社	0 社
15. 化学肥料	1 社	1 社	1 社
16. その他化学工業品（顔料、合成樹脂等）	5 社	4 社	1 社
17. 紙・パルプ	4 社	2 社	2 社
18. 繊維工業品	1 社	0 社	0 社
19. 食料工業品	7 社	0 社	4 社
20. 日用品	5 社	6 社	4 社
21. その他製造工業品（ゴム皮革製品、木製品等）	0 社	2 社	2 社
22. 特殊品（廃棄物、引越荷物等）	1 社	2 社	0 社
23. その他	3 社	1 社	3 社
24.未回答	2 社	13 社	23 社

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和4年4月～6月期)

※215社中53社回答

	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
実働率	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	8	15.1%	21	39.6%	21	39.6%	3	5.7%	0	0.0%
前期比	1	1.9%	8	15.1%	26	49.1%	16	30.2%	2	3.8%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	8	15.1%	24	45.3%	18	34.0%	3	5.7%	0	0.0%

実車率	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	8	15.1%	27	50.9%	16	30.2%	2	3.8%	0	0.0%
前期比	1	1.9%	8	15.1%	30	56.6%	13	24.5%	1	1.9%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	8	15.1%	25	47.2%	19	35.8%	1	1.9%	0	0.0%

ドライバーの過不足	1.不足		2.やや不足		3.適当		4.やや過剰		5.過剰		6.未回答	
今期の状況	9	17.0%	18	34.0%	23	43.4%	3	5.7%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	13	24.5%	16	30.2%	23	43.4%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
ドライバーの採用状況	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	5	9.4%	37	69.8%	10	18.9%	1	1.9%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	9	17.0%	32	60.4%	11	20.8%	1	1.9%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	5	9.4%	34	64.2%	11	20.8%	3	5.7%	0	0.0%

ドライバー以外の過不足	1.不足		2.やや不足		3.適当		4.やや過剰		5.過剰		6.未回答	
今期の状況	4	7.5%	17	32.1%	29	54.7%	3	5.7%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	5	9.4%	17	32.1%	29	54.7%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
ドライバー以外の採用状況	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	7	13.2%	40	75.5%	6	11.3%	0	0.0%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	7	13.2%	40	75.5%	6	11.3%	0	0.0%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	9	17.0%	36	67.9%	8	15.1%	0	0.0%	0	0.0%

所定外労働時間 (休日労働を含む)	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	6	11.3%	28	52.8%	17	32.1%	2	3.8%	0	0.0%
前期比	1	1.9%	3	5.7%	30	56.6%	16	30.2%	3	5.7%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	5	9.4%	31	58.5%	16	30.2%	1	1.9%	0	0.0%

貨物の再委託の割合	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	5	9.4%	26	49.1%	17	32.1%	1	1.9%	4	7.5%
前期比	0	0.0%	6	11.3%	27	50.9%	16	30.2%	0	0.0%	4	7.5%
先行き	0	0.0%	13	24.5%	23	43.4%	13	24.5%	0	0.0%	4	7.5%

経常損益	1.大幅に好転		2.やや好転		3.変化なし		4.やや悪化		5.大幅に悪化		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	9	17.0%	18	34.0%	23	43.4%	3	5.7%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	9	17.0%	19	35.8%	23	43.4%	2	3.8%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	10	18.9%	18	34.0%	23	43.4%	2	3.8%	0	0.0%

業界の景況感	1.大幅に好転		2.やや好転		3.変化なし		4.やや悪化		5.大幅に悪化		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	5	9.4%	17	32.1%	28	52.8%	3	5.7%	0	0.0%
前期比	1	1.9%	4	7.5%	14	26.4%	32	60.4%	2	3.8%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	6	11.3%	15	28.3%	29	54.7%	3	5.7%	0	0.0%

今期の水準	1.良い		2.ふつう		3.悪い		4.未回答	
	1	1.9%	28	52.8%	24	45.3%	0	0.0%

輸送数量全体	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	1	1.9%	6	11.3%	20	37.7%	23	43.4%	3	5.7%	0	0.0%
前期比	0	0.0%	7	13.2%	22	41.5%	23	43.4%	1	1.9%	0	0.0%
先行き	0	0.0%	6	11.3%	23	43.4%	21	39.6%	3	5.7%	0	0.0%

取扱い1位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	6	11.3%	23	43.4%	18	34.0%	4	7.5%	2	3.8%
前期比	1	1.9%	6	11.3%	20	37.7%	21	39.6%	3	5.7%	2	3.8%
先行き	1	1.9%	5	9.4%	23	43.4%	17	32.1%	5	9.4%	2	3.8%

取扱い2位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	6	11.3%	21	39.6%	10	18.9%	3	5.7%	13	24.5%
前期比	0	0.0%	4	7.5%	22	41.5%	12	22.6%	2	3.8%	13	24.5%
先行き	0	0.0%	4	7.5%	21	39.6%	13	24.5%	2	3.8%	13	24.5%

取扱い3位品目	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	3	5.7%	13	24.5%	12	22.6%	1	1.9%	24	45.3%
前期比	1	1.9%	2	3.8%	15	28.3%	10	18.9%	1	1.9%	24	45.3%
先行き	0	0.0%	2	3.8%	16	30.2%	11	20.8%	0	0.0%	24	45.3%

営業収入(売上高)	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	9	17.0%	20	37.7%	19	35.8%	4	7.5%	1	1.9%
前期比	1	1.9%	6	11.3%	22	41.5%	20	37.7%	3	5.7%	1	1.9%
先行き	0	0.0%	6	11.3%	21	39.6%	22	41.5%	3	5.7%	1	1.9%

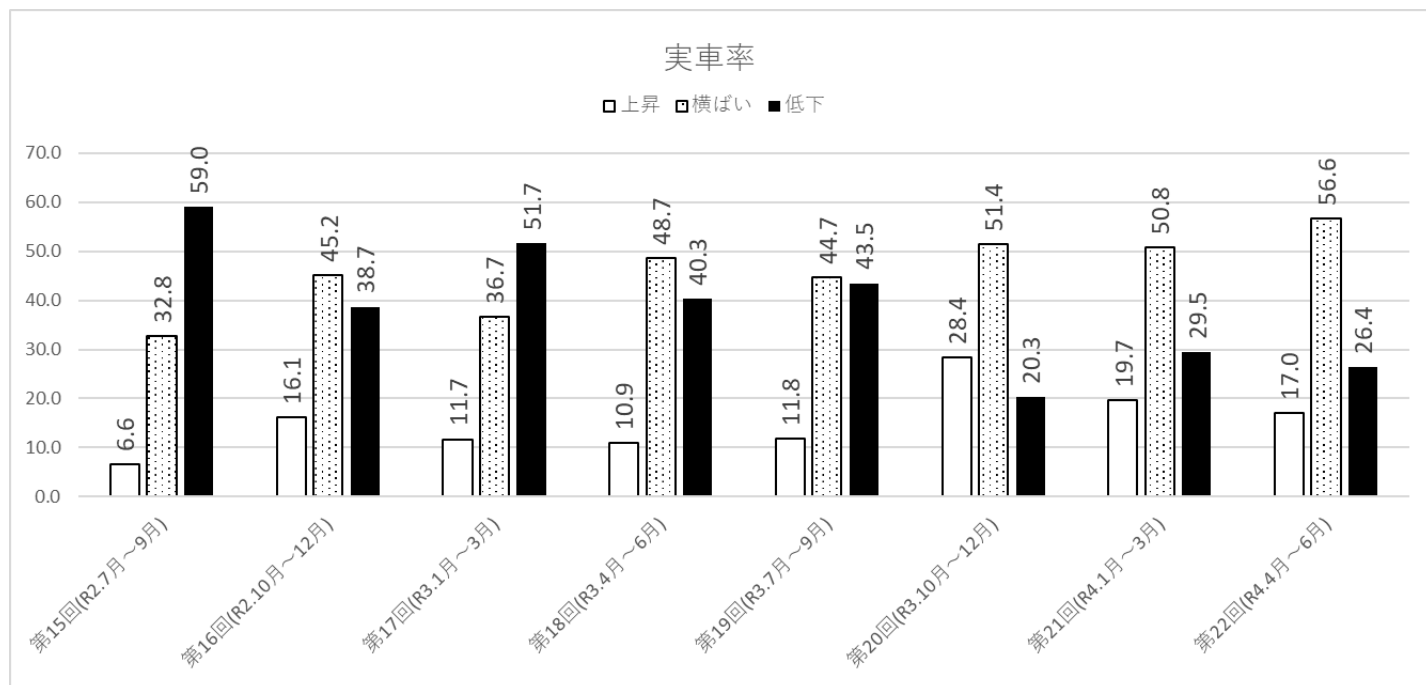
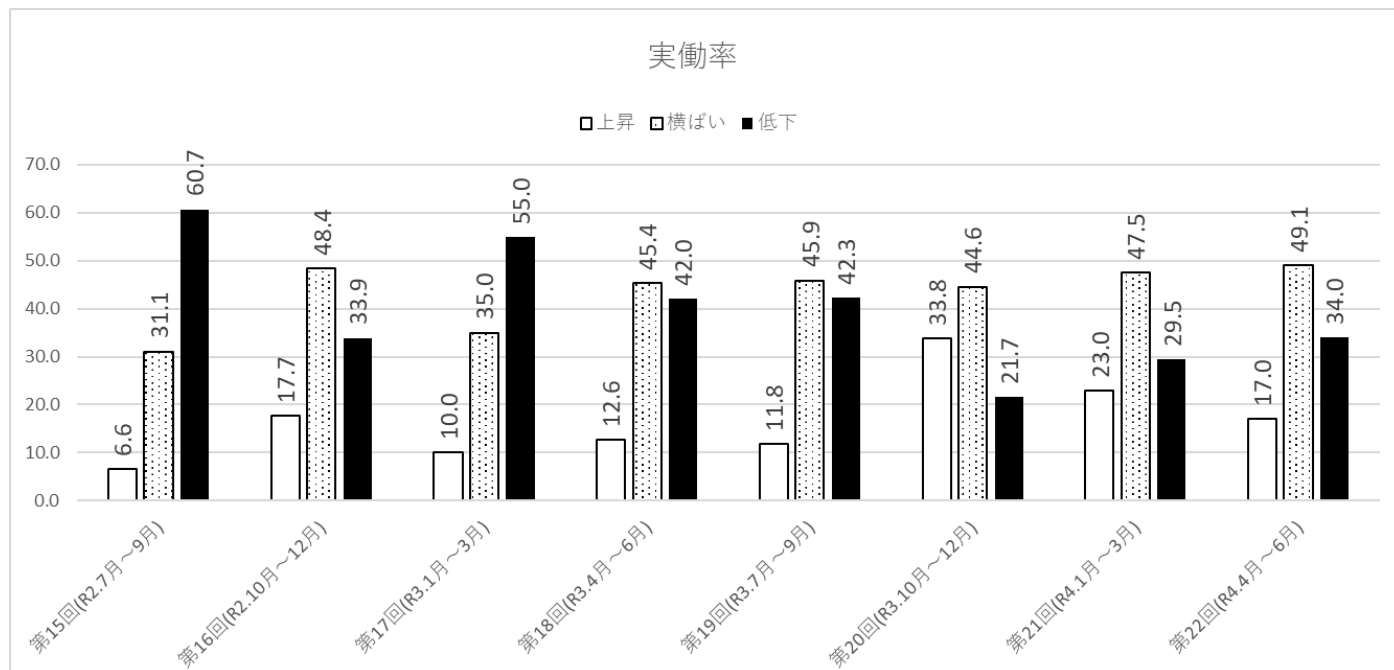
営業利益	1.大幅に増加		2.やや増加		3.変わらない		4.やや減少		5.大幅に減少		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	7	13.2%	21	39.6%	19	35.8%	5	9.4%	1	1.9%
前期比	0	0.0%	5	9.4%	24	45.3%	18	34.0%	5	9.4%	1	1.9%
先行き	0	0.0%	5	9.4%	23	43.4%	20	37.7%	4	7.5%	1	1.9%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇		2.やや上昇		3.横ばい		4.やや低下		5.大幅に低下		6.未回答	
前年同期比	0	0.0%	7	13.2%	38	71.7%	6	11.3%	1	1.9%	1	1.9%
前期比	0	0.0%	5	9.4%	40	75.5%	7	13.2%	0	0.0%	1	1.9%
先行き	1	1.9%	6	11.3%	37	69.8%	8	15.1%	0	0.0%	1	1.9%

燃料サーチャージの収受について	1.収受できている		2.交渉中、検討中		3.収受できていない、しない		4.未回答	
	12	22.6%	22	41.5%	17	32.1%	2	3.8%

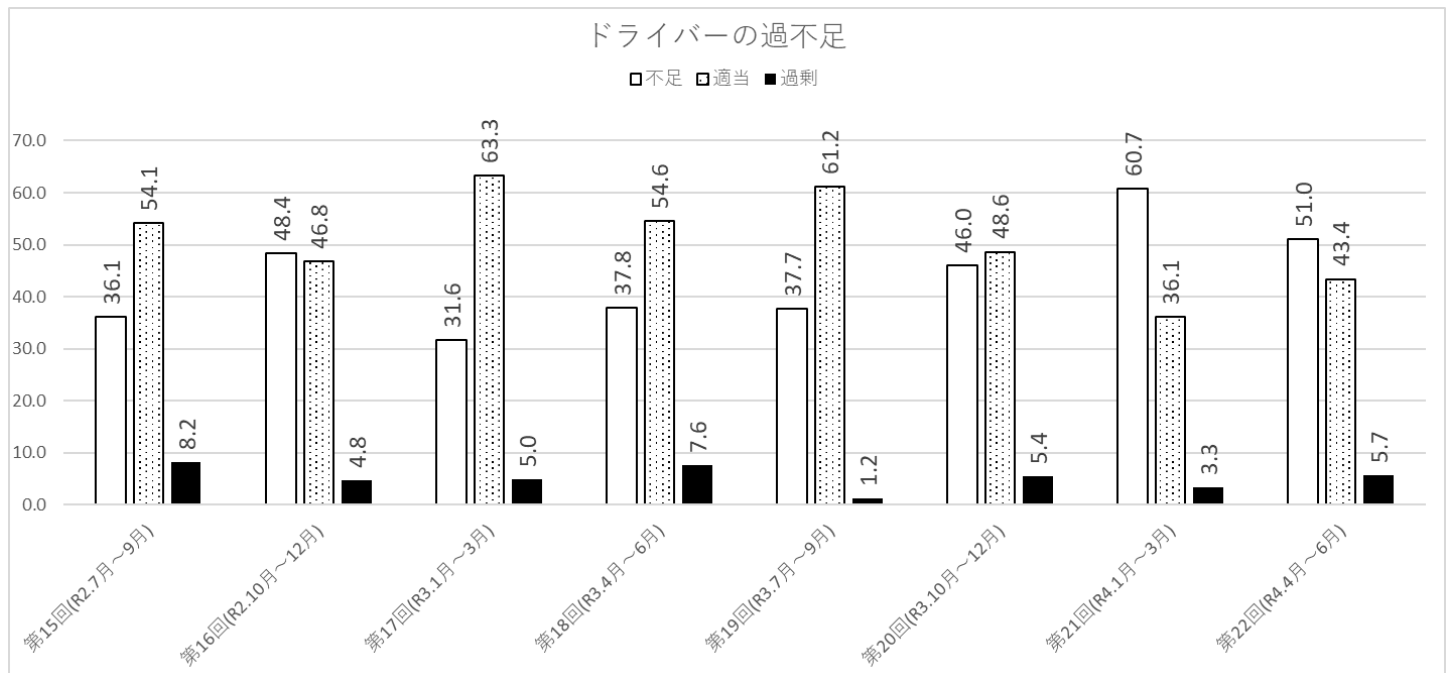
○実働率・実車率

実働率の前期比について「上昇」が6 ㊦減少し、「低下」が4.5 ㊦増加している。また実車率は「上昇」が2.7 ㊦減少し、「低下」も3.1 ㊦減少し、一方で「横ばい」が5.8 ㊦増加している。新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いていた時期ではあったものの、物価の上昇や燃料価格の高騰等が荷動きに影響したと考えられる。



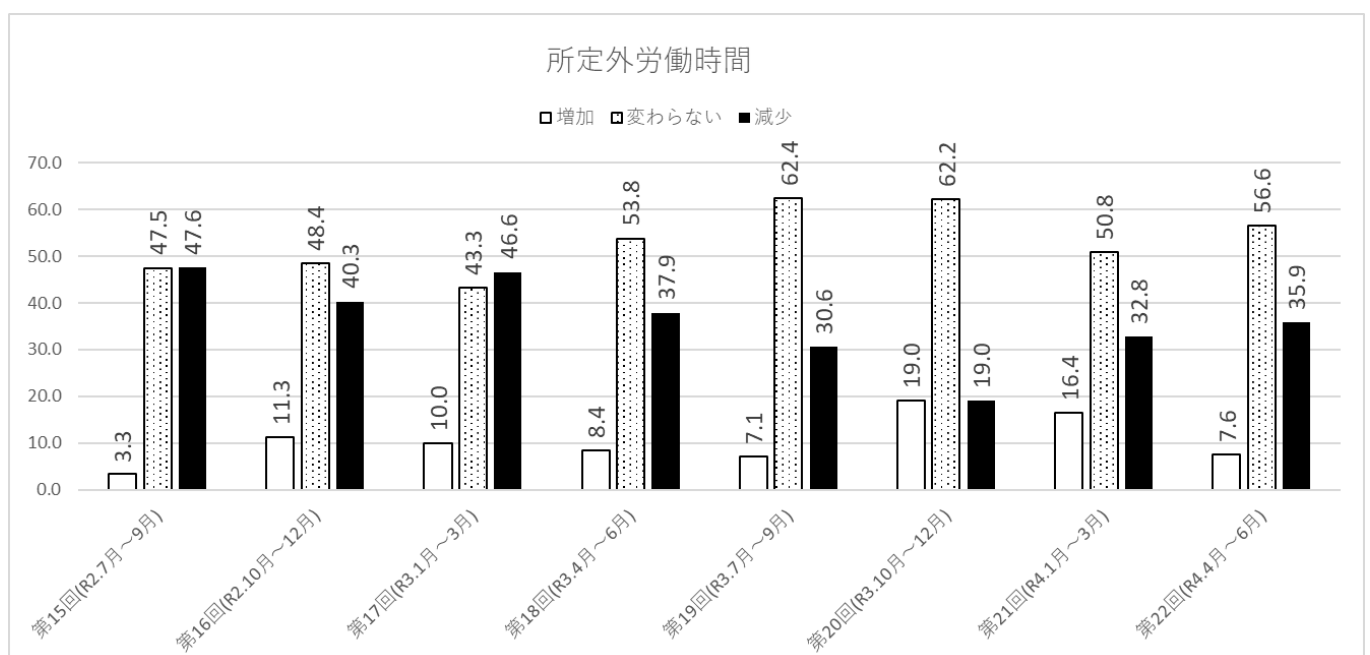
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について「不足」との声が 9.7 ㊦減少し、「適当」との声が 7.3 ㊦増加している。荷動きの低下からドライバー不足が解消しているためだと考えられる。



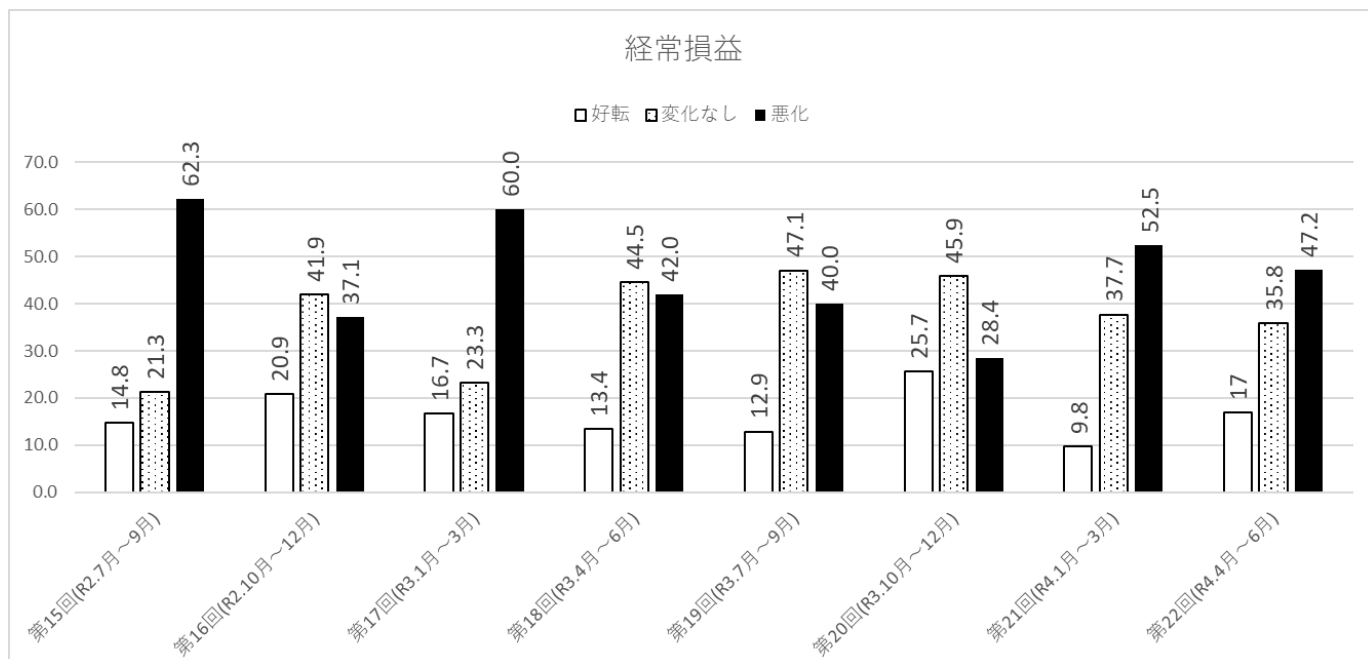
○所定外労働時間

所定外労働時間について「増加」との声が 8.8 ㊦減り、「減少」との声が 3.1 ㊦増加した。荷動きが減少したことにより、ドライバー一人あたりの仕事量が少なくなっていることが伺える。



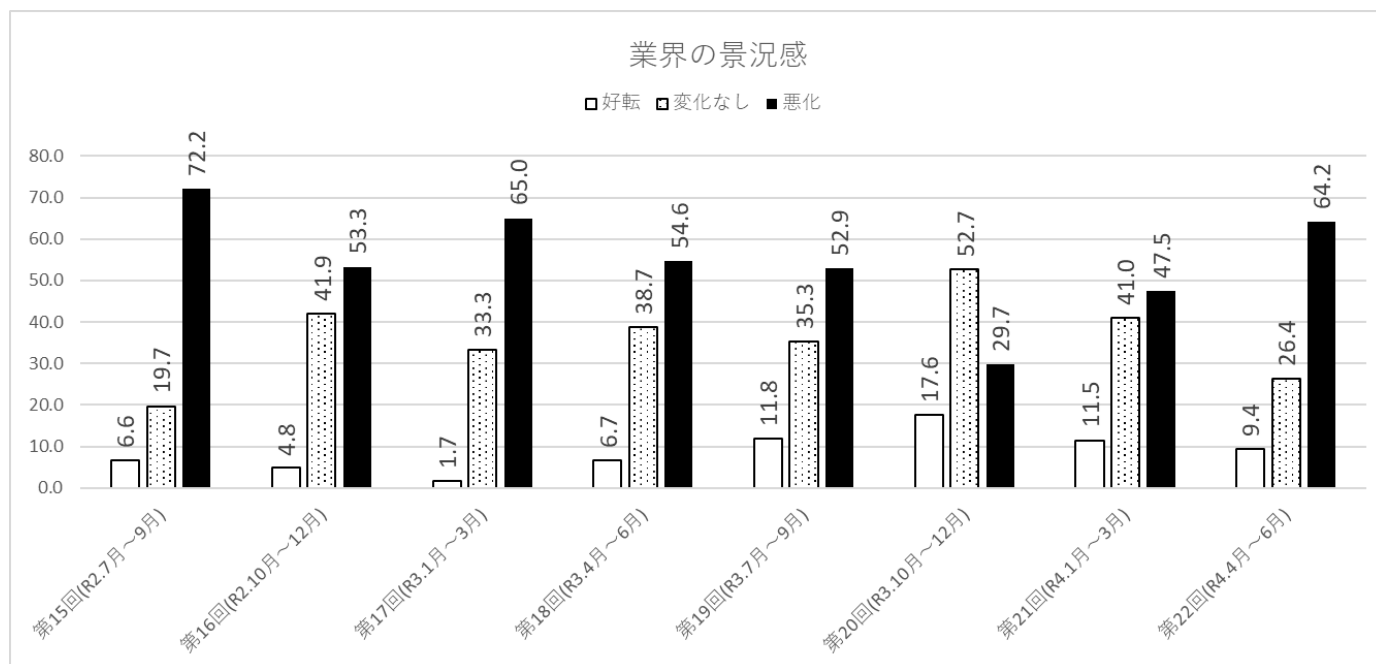
○経常損益

経常損益について「好転」が7.2 ㊦と増加し、「悪化」が5.3 ㊦と減少しているものの、47.2%が「悪化」となっており、燃料価格の高騰や円安の影響により、厳しい経営状況にある事業者が多くみられた。



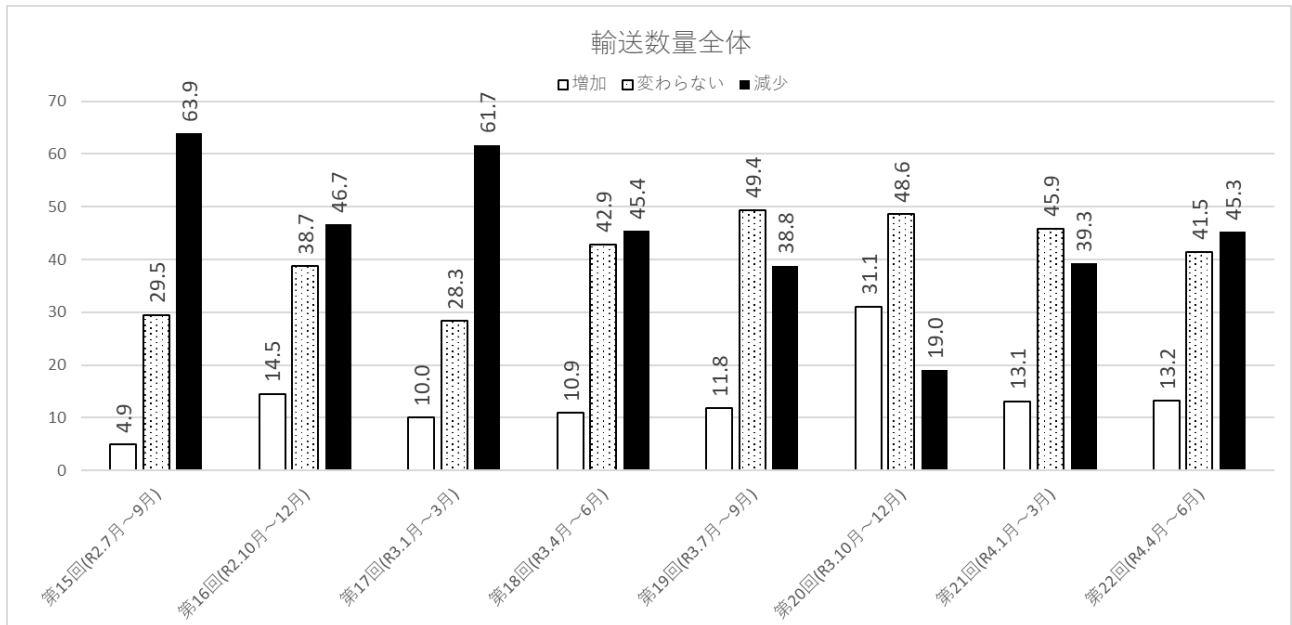
○業界の景況感

業界の景況感について「好転」が2.1 ㊦微減し、「悪化」が16.7 ㊦増加している。また、先行きについても「悪化」が9.5 ㊦増加し60.4%となるなど、昨今の国際情勢等の影響がトラック運送業界にも表れているものと考えられる。



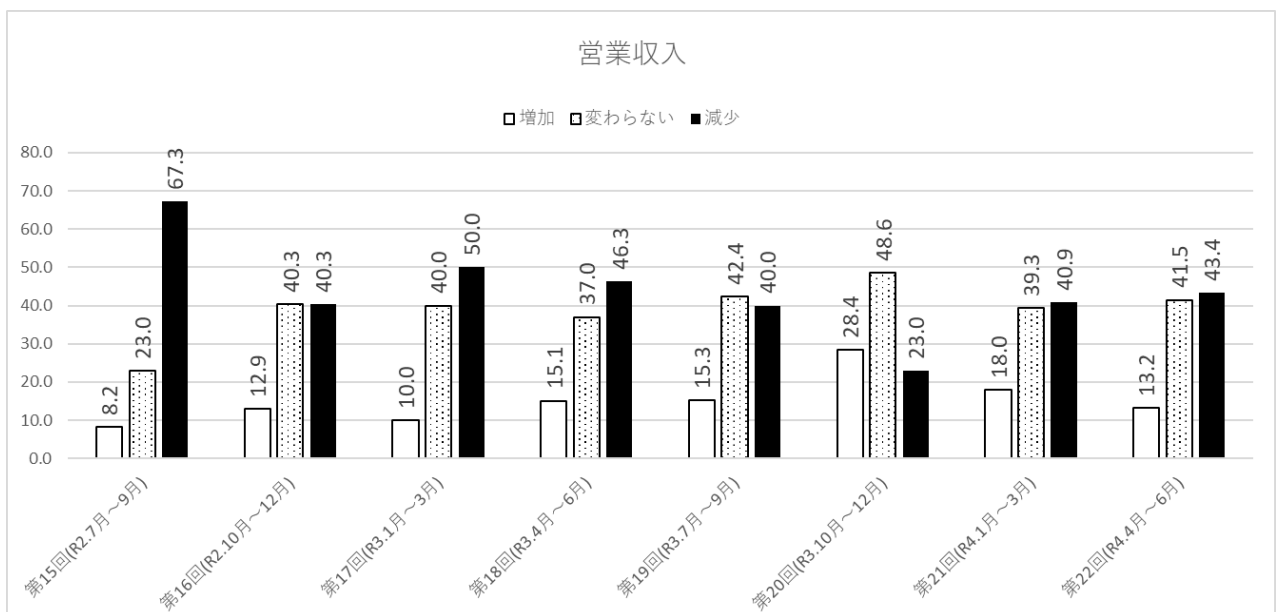
○輸送数量

輸送数量について「減少」が6 割増加したものの、「増加」も11.1 割増加しており、今期では新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いたことにより、荷動きが活発化したことが見てとれる。しかし、先行きは「減少」が15.5 割増加しており、ウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染拡大の第七波への不安感が見受けられた。



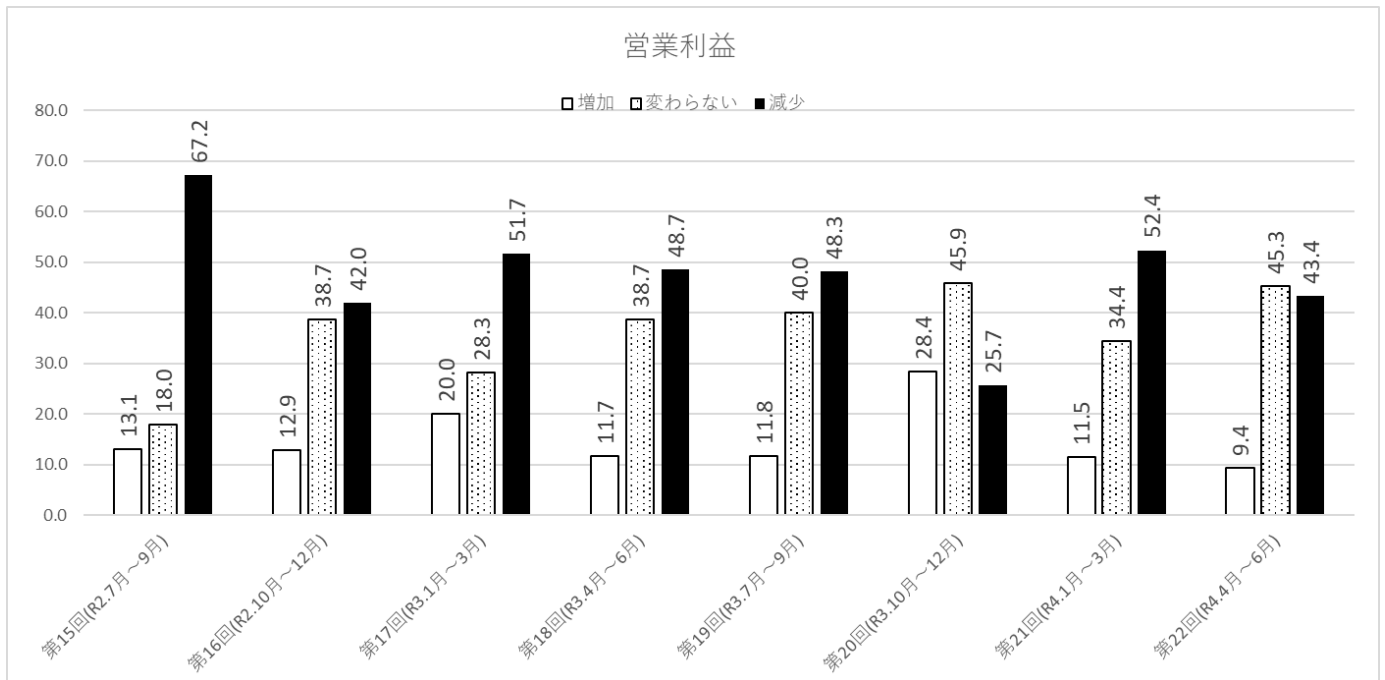
○営業収入

営業収入について「増加」が4.8 割微減、「減少」が2.5 割微増と前回の調査から大きくは変わらなかった。しかしながら、「減少」が43.4%を占めており、荷動きの停滞により収入が減少している事業者が多くあった。



○営業利益

営業利益について「変わらない」が10.9 ㊦増加しており、好転の兆しは見えていない状況にある。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準について「横ばい」が13 ㊦減少し、「低下」が13.2 ㊦増加しており、荷主企業の不況のあおりを受け、事業者側も運賃交渉がスムーズに進んでいないことがわかる。

